

パブリックコメント意見募集の結果公表

第四期帯広市子どもの読書活動推進計画（原案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と帯広市教育委員会の考え方は下記のとおりです。

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、第四期帯広市子どもの読書活動推進計画（原案）の修正は行わず原案どおりとして策定することとしました。

【意見募集結果】

案 件 名	第四期帯広市子どもの読書活動推進計画（原案）		
募 集 期 間	令和元年 11 月 27 日（水）～ 令和元年 12 月 26 日（木）		
意見の件数 （意見提出者数）	4 件（4 人）		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	0 件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	0 件
	参考	今後の参考とするもの	3 件
	その他	意見として伺ったもの	1 件
意見の受け取り	持参		0 人
	郵送		0 人
	ファクス		1 人
	電子メール		3 人

【意見等の内容】

No	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市教育委員会の考え方
1	<p>学校には司書教諭がいるところもあるが、他の業務も複数抱え司書業務に専念できる状況ではないと思う。是非各校に司書教諭ではなく学校司書を配置し、子どもが本と出会い親しんでいけるような環境を作っていくことを希望する。</p>	1 件	<p>【参考】 司書教諭については、北海道都市教育委員会連絡協議会を通じて北海道教育委員会に対して専任の司書教諭としての配置を要望しています。 引き続き、文部科学省の「学校図書館ガイドライン」なども参考にしながら、魅力的な学校図書館の運営を進めつつ、学校司書の配置については、多様化する教育に関わる行政需要を見極めながら検討していきます。</p>
2	<p>現在の司書教諭は専任ではなく、当然ながらクラス担任や教務の業務が優先され、司書教諭としての業務は遂行できないように感じており、専任の学校司書の配置を強く希望する。</p>	1 件	
3	<p>学校における取り組みの推進について、学校側から生徒に対して読書と呼びかけるだけではなく、生徒一人一人に読書をしているか聞くべき。中学校・高校では、毎年何回か生徒との二者面談を行っているので、その時に聞けばいいと思う。ただ、大人の不読率が増加しているので、(第1章「5-(3)大人の不読率の増加」による)学校(教師)側も読書しているか調査してから取り組みに移ればいいと思う。 対象年齢が18歳までとなっているので、高校生の読書割合も載せるべきだと思う。</p>	1 件	<p>【参考】 児童、生徒の読書の実態については、全国学力学習状況調査などを通じ把握しているところであり、個別の状況については、担任等による日常の指導のなかで把握に努めています。 教職員の読書の状況については、負担を考慮し、個別に調査を行うことは考えておりませんが、研修機会等を通じ、読書の重要性を伝えていくところです。 なお、高校生の読書状況は、高校の図書館関係者からの情報収集などを通じ状況把握につとめ、引き続き、読書活動の推進に取り組みます。</p>
4	<p>絵本講師として活躍されている方の情報を参考として提供する。</p>	1 件	<p>【その他】 子どもの自主的な読書活動を推進するため、ご意見として伺わせていただきます。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり